

冬だからこそその楽しみ、 冬の自然でほんとひと息。

私市エリアには、星の里いわふねをはじめ、ほしだ園地や大阪公立大学附属植物園といった、自然に親しむ施設が多くあります。春から秋には多くの市民や観光客でにぎわいますが、冬は寒さや木々の緑が少ないこともあり、閑散期に入ります。

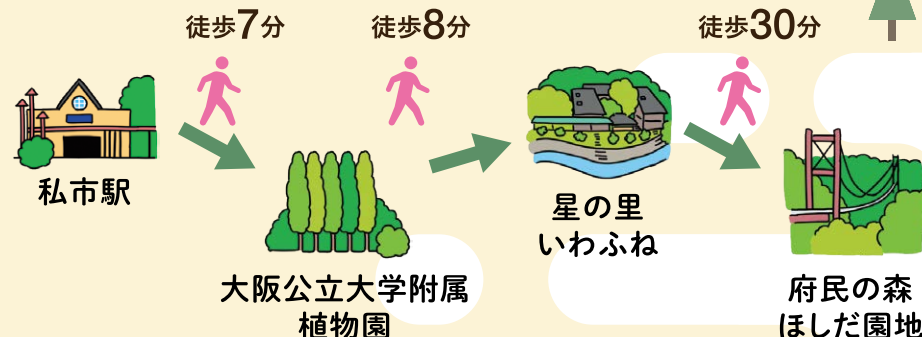
ですが、このシーズンだからこそ楽しめる要素もたくさんあります。今回は冬場の私市エリアの魅力をご紹介します。皆さんもこれらの施設で、心温まるひとときを過ごしてみませんか。

Instagramに場所とコメント、
#交野の推しスポット
#タノシカタノシをつけて
皆さんのお気に入りスポットを
投稿しよう！

冬の私市 お楽しみメモ

3施設は徒歩や短い移動でめぐることができ、それぞれに冬だけの見どころがあります。気分に合わせて立ち寄れば、ちょうどよい運動と気分転換にも。こもりがちな季節に、ちょっと外へ出るきっかけにどうぞ。

私市駅からの 散策所要時間



交野PR大使
おぐら ひろこ
小椋 寛子さん

#1

冬の交野の魅力
再発見

大阪公立大学附属植物園

広大な園内で約2,700種の植物を育成・展示している植物園です。冬は枝ぶりやつぼみの様子がよく見え、梅の花が咲きはじめる時期でもあります。散策と写真撮影が楽しめる季節です。

開園時間 9:30~16:30(最終入園16:00)

入園料 大人400円/中学生以下無料



Winter Pick Up Info !

園長に聞いた！

冬の植物園の ココが魅力！

冬の植物園は、季節の変化が一番静かに感じられる時期です。園内を歩いていると、春に向けてふくらみ始めるつぼみや、冬ならではの表情を見せる木々に出会えます。2月ごろには梅の花も咲き始め、少しずつ春の気配が近づいてきます。あわせて園内では写真展も開催していますので、“これだ”と思う1枚にぜひ投票してみてください。

大阪公立大学
附属植物園 園長
ななみ さとし
名波 哲さん



色づく梅林

約40種・100本の梅が、2月中旬から3月にかけて早咲きから遅咲きまで順に開花。赤・白・ピンクの花が移ろい、冬から春への季節の変化を楽しめます。



植物園写真展開催

2/17(火)~3/1(日)

園内で撮影した写真を応募できる人気企画。来園者の投票で入賞作品が選ばれ、WEB掲載もされます。



バードウォッチング

冬の植物園は、葉が落ちて枝の形がよく見えます。歩いていると、木々を飛び交う野鳥の姿やさえずりに気づき、春に向けてふくらむつぼみを見つけることもできます。

